

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	生物多様性保全回復整備事業費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	生物多様性施策推進室		室長 堀上 勝		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5.生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	■生物多様性基本法 第3条第1項及び第3項 基本原則 第5条 地方公共団体の責務 第8条 法制上の措置等 第27条 地方公共団体の施策		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2012-2020 第3部第1章第1節1 生態系ネットワーク				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国の自然環境を代表する自然的特性を有する地域に隣接するなど我が国の生物多様性保全上重要と認められる地域と生態学的に密接な関連を有する地域において、都道府県が地域の条件に応じて行う地域の生態系の保全・回復を図るための生物の生息空間等の施設の整備事業を支援することにより、地域の生物や生態系の有機的なつながりを確保し、自然共生社会づくりを推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国の生物多様性の保全上重要と認められる地域と生態学的に密接な関連を有し、かつ、都道府県知事が、生態系の保全・回復を図る地域として、あらかじめ公示した地域における、生態系の保全・回復を図るための施設又は生物の生息空間の整備に関する事業のうち、一定の要件に該当する先進的・効果的で全国的な観点から波及効果が期待される事業に対し、必要な経費の一部を国が交付する(交付金:国費1/2以内)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	100	100	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	100	100	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	地域における生物多様性の保全・回復 (保全・回復の達成状況を一律に定量化することは困難)		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実施箇所数		活動実績 (当初見込み)	箇所	- (-)	- (-)	- (-)	- (5)
			算出根拠		予算要求額/事業実施見込箇所数			
単位当たりコスト	2,000(万円/件)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	生物多様性保全回復施設整備交付金	100	100					
	計	100	100					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	生物多様性国家戦略2012-2020に位置づけられている「生態系ネットワークの形成」を効果的・効率的に進めるため、国の自然環境を代表する地域と生態学的に密接な関連を有する地域において、都道府県が地域の自然的・社会的条件に応じて実施する生物多様性の保全・回復のための生物の生息空間の整備事業に対して、国が支援する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・本交付金は、内閣府の地域自主戦略交付金の廃止に伴い創設されたものである。事業主体である都道府県へ周知するとともに、生物多様性国家戦略2012-2020に位置づけられている「生態系ネットワーク」の形成を効果的・効率的に進めていくため、事業の効果的・効率的な実施に努める。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25追加-008

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
100百万円

我が国の生物多様性保全上重要と認められる地域と生態学的に密接な関連を有する地域において、都道府県が地域の条件に応じて行う地域の生態系の保全・回復を図るための生物の生息空間等の施設の整備事業を支援することにより、地域の生物や生態系の有機的なつながりを確保し、自然共生社会づくり推進する。

【交付】

都道府県(5箇所)
100百万円

生態系の保全・回復を図るための生物の生息空間の整備事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)